

平成19年12月議会、12月3日～20日までの18日間開催。19年度一般会計補正予算案、(補正額1、120万7千円、予算総額123億1、611万5千円)など、24議案が提案され、全議案可決承認。一般質問には14名の議員が登壇、平成20年度予算の見通しや、福祉、教育、産業問題など多岐にわたって活発な論議が交わされた。

市民の安全第一に防犯灯552基、新たに設置

事業内容

- | | | | | |
|------------------|--------------|------|------|---------|
| (1) 防犯灯設置 | 中学生通学路 | 13路線 | 23km | 289基 |
| | 国道、県道及び市幹線道路 | 7路線 | 16km | 243基 |
| (2) 既設防犯灯修繕 | 器具取替え等 | | | 20基 |
| (3) 予算額 | | | | 5,772千円 |
| (4) 維持管理 (電気料含む) | 市負担で行う。 | | | |

就学前医療費の助成、一部負担化へ、条例「改正」

市はこれまで就学前医療費無料化を続けてきたが、財政難を理由に、『児童一人につき、月額500円』を控除した額を補助すると、条例『改正』提案。これは病院代保護者個人負担が月500円となり、市全体では、250万円～300万円、就学前児童を持つ世帯の負担増となるものです。この議案に対しては反対する議員もかなりいましたが、賛成多数で可決されました。市長はこの自己負担による財源で、妊産婦検診の回数増、児童へのフッ素塗布を新たに予算化する考えを示しました。市民の皆さんのご意見を是非、議会及び最寄りの議員にお寄せください。

国民健康保険事業、医療費増による財政危機 平成20年度大幅値上げの予想

国民健康保険は市民の命と健康を守る上で大事な社会保障制度です。ところが市国保財政は一般会計から今回の補正で、2,103万円を繰り出しましたが、平成18年度から平成19年度にかけての医療費の伸びが12.35%と大幅なため、国保財政調整基金残高が、12月末で約787万円となり財政、運営面から大変厳しい状況になっています。このままでは平成20年度には国保税値上げが大きな問題となってくるのは間違いありません。家計所得は伸びないなか、石油国際価格高騰による、あらゆる物価値上げで市民の生活は火の車です。市財政も厳しいでしょうが、市民の生活をどう守っていくのか、議会の果たす役目は大きなものがあります。